

事業名	いわて三陸復興のかけ橋推進協議会 復興支援員	事業実施主体	岩手県
		関係協力団体	いわて三陸復興のかけ橋推進協議会

概要	東日本大震災津波からの復興に当たり、復興支援マッチングや復興関連情報の発信等を通じた被災者の生活支援、ケア並びに地域おこし活動の支援を図ることにより、地域に根ざしたコミュニティ主体の復興を推進する。
-----------	---

支援員数	2名	活動時期	平成27年4月～
-------------	----	-------------	----------

活動地域	沿岸被災12市町村 (洋野町、久慈市、野田村、普代村、田野畑村、岩泉町、宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市)
-------------	--

活動内容	<p>(1) 復興支援マッチングの推進 本県沿岸被災地の復興を促進するため、当地からの復興支援要請と県内外からの復興支援提案を収集し、双方をマッチング</p> <p>(2) 復興関連情報の発信 震災の風化や被災地に対する関心の低下を抑止し、復興支援の継続を図るため、各種復興関連情報を取材、収集し、復興支援ポータルサイト「いわて三陸 復興のかけ橋」等を通じ発信</p> <p>(3) 復興支援ネットワークの構築 復興支援マッチング及び復興関連情報の発信を推進するため、本県沿岸被災地内外の企業・団体等との連携・協力体制を構築</p>	 <p>支援企業の製品を活用した地域住民の集いの場づくり</p>
		 <p>ポータルサイト「いわて三陸復興のかけ橋」</p>

ホームページ	http://iwate-fukkou.net/	配属地域概要	人口	233,770人	高齢化率	37.7%
---------------	---	---------------	-----------	----------	-------------	-------

問合せ先	所属	岩手県政策地域部政策推進室	被災状況	面積	4942.59km ²	住宅被害 (全壊)	19,508人
	担当者	佐香		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	5,106人		
	電話番号	019-629-5196	備考				
	メールアドレス	AA0001@pref.iwate.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	いわて定住・交流促進連絡協議会(久慈事務所)

概要 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。

支援員数	2名	活動時期	令和元年6月～
------	----	------	---------

活動地域 岩手県久慈市周辺の三陸沿岸地域

活動内容

- 三陸沿岸の素材を生かした地域の魅力発信
関係機関と連携し、下記研修会で地域資源の魅力を発信。
・三陸鉄道の乗り方と三陸ジオパークを知る(普代村)
・三陸ジオパーク研修会(八戸市) など
- 伝統行事活動支援
三陸沿岸で古くから行われている製鉄方法「たたら製鉄」を関係団体や住民等と実施し、教育旅行や新たな観光資源として取り入れる地域への支援活動を実施。
- 三陸ジオパーク推進協議会と連携した地域振興活動
関係機関や三陸ジオパーク認定ガイドと連携し、各イベントで地域住民に魅力を伝え、地元を誇りを持ってもらうような地域振興活動を実施。






ホームページ		https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室			面積	15275.01 km ²		
	担当者	作山 裕子		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)	19,508 棟
	電話番号	019-629-5194						
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp		備考	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値				

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	いわて定住・交流促進連絡協議会(定住・交流推進部)

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	1名	活動時期	平成30年10月～
------	----	------	-----------

活動地域	岩手県内全域
------	--------

活動内容	<ol style="list-style-type: none"> 岩手県内全域の定住・交流事業の支援に関する情報発信(特に被災市町村の定住・交流事業の支援) <ol style="list-style-type: none"> 移住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」 Twitter「イーハトー部」 首都圏移住関連イベント参加・セミナー開催による岩手県への移住推進PR活動 相談窓口業務「定住推進雇用労働室」 復興支援員、地域おこし協力隊の支援活動(主に活動・隊員募集等の情報発信協力) 	 <p>岩手県移住ポータルサイト「イーハトー部に入ろう！」</p>	 <p>Twitter「イーハトー部」</p>	 <p>県主催移住イベント</p>
	ホームページ	https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		

問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室	配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
	担当者	作山 裕子		面積	15,275.01 km ²		
	電話番号	019-629-5194	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)	19,508 棟
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp		備考	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	岩手県沿岸広域振興局 宮古地域振興センター

概要 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。

支援員数	1名	活動時期	令和元年5月～
------	----	------	---------

活動地域 岩手県宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村

- 活動内容**
- 三陸復興プロジェクト関連イベント
 - 「三陸ぐるめまつり」にてアンケート調査及び販売補助
 - 「ぐるっと食堂」にて来場者にチラシ配布やイベント補助
 - RWC釜石関連
 - 活動地域内で商店街や飲食店に対してステッカー配布、関連する補助事業の告知活動
 - 三陸ジオパーク
 - 再認定に向けた看板調査など環境づくり、PR活動
 - 民間レベルで実施したイベントの企画・運營業務
 - 三陸DMOとの連携
 - 盛岡三高総合学習(山田町コース)アテンド



ホームページ		https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所 属	岩手県政策地域部地域振興室			面積	15,275.01 km ²		
	担 当 者	作山 裕子		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)	19,508 棟
	電話番号	019-629-5194			備考	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値		
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp							

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	岩手県沿岸広域振興局経営企画部

概要 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。

支援員数	1名	活動時期	平成30年6月～
------	----	------	----------

活動地域 岩手県釜石市、上閉伊郡大槌町

活動内容

三陸DMO(観光地域づくり)の推進

- 「さんりく旅するべ(三陸観光情報を一元的に発信するWEBサイト(三陸DMOセンター)」の運営開始に伴い、掲載施設・店舗等に関する取材活動及び掲載・更新作業を実施し、魅力ある三陸の発信に努めた。
- 県が実施した「RWC外国人観光客等受入環境集中整備事業(補助金)」の活用による受入環境の整備を促進するため、対象事業者を個別訪問し概要説明から交付申請まで、一連の手続きのフォローアップを実施することにより、より多くのWi-Fi整備、トイレ洋式化、WEBサイト多言語対応などに結び付いた。

三陸ジオパークの推進

- イオンタウン釜石を会場とし、8～10月まで月毎に2日間ずつ、三陸ジオパークPRコーナーを設置し、ジオサイトのVRやアンモ ナイトレプリカづくりの体験を通して、三陸ジオパークの認知度 向上を図った。(体験数:のべ530名)



ホームページ		https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室			面積	15,275.01 km ²		住宅被害 (全壊)
	担当者	作山 裕子		被災状況	人的被害 (死亡者:身元判明者+死亡認定者)	5,787 人		
	電話番号	019-629-5194			備考	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値		
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp							

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	(公財)さんりく基金、三陸DMOセンター

概要 東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。

支援員数	1名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域 岩手県三陸沿岸地域、盛岡市

活動内容

三陸沿岸地域の観光資源等を活用した交流人口を拡大する為、平成30年度においては、平成28～30年度実施した三陸観光プランナー養成塾修了生に対し、次の支援等を進める一方で、新たな観光地域づくり人材を発掘し育成するため、令和元年度三陸観光プランナー養成塾も現在開講中(R1.12～R2.2)。

- ①令和元年度三陸観光プランナー養成塾開講中(全3回予定)
- ②各種商談会における企画・開発した旅行商品の提案
- ③三陸鉄道を活用した車内イベント企画・運営サポート
さんてつガイドサポーターズクラブ事務局 立ち上げ
- ④産学官金連携による留学生モニターツアー企画・運営 など







ホームページ		https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室			面積	15,275.01 km ²		
	担当者	作山 裕子		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)	19,508 棟
	電話番号	019-629-5194			備考	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値		
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp						

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	三陸ジオパーク推進協議会

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	3名	活動時期	平成26年5月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県宮古市の他 三陸ジオパークエリアの青森県八戸市～宮城県気仙沼市までの範囲(16市町村)
------	--

活動内容	<p>創造的復興のシンボルの一つである三陸ジオパークの推進にあたって、新たな視点や発想により下記のような取り組みを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三陸ジオパーク推進協議会事務局の運営及び企画実施 ・ジオパーク授業による児童、生徒及への普及啓発 ・ジオパーク検定による地域への普及啓発 ・ジオサイト調査研究への支援 ・ジオガイドの研修及びネットワーク化 ・ジオパーク再認定現地審査の実施 ・ガイドブック、パンフレット等の作成 ・地域コミュニティの再構築、活性化等の地域振興に係る活動 ・環境省(三陸復興国立公園)みちのく潮風トレイル等との連携 ・岩手県立大学などとの連携
------	---



東北ジオパークフォーラムにて

ホームページ	https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室		面積	15,275.01 km ²		
	担当者	作山 裕子	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)	19,508 棟
	電話番号	019-629-5194					
	メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp	備考	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊	事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)
		関係協力団体	三陸鉄道株式会社

概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。
----	--

支援員数	2名	活動時期	平成30年7月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県宮古市
------	--------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆三陸沿岸地域の特産品を活用した新商品の開発 ◆岩手県事業との連携イベント実施及び情報発信 ◆地域情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域の食の情報誌「駅-1グルメ」や三鉄広報誌の作成 ・パンフレット改正版の作成 ・ラジオ放送を企画・制作及びSNS等で情報発信 ◆三陸鉄道リアス線の一本化(2019.3.23)にあたり、ヘッドマーク、幟旗など広告物作成、HP更新、イベント実施。 ◆三陸鉄道の震災学習列車、震災復興研修の実施及び広報支援 ◆県内外と沿岸地域の交流を目的とした三鉄企画列車の実施 	 <p>駅-1グルメ</p>	 <p>笑顔だより</p>
	 <p>震災復興研修</p>	 <p>三鉄ヘッドマーク</p>	

ホームページ	https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01 km ²		
	担当者	作山 裕子		備考	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	019-629-5194	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値				
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp						

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県～

事業名	いわて復興応援隊		事業実施主体	岩手県(いわて定住・交流促進連絡協議会)			
			関係協力団体	岩手県政策地域部 三陸防災復興プロジェクト2019推進室			
概要	東日本大震災津波により甚大な被害を受けた三陸地域のコミュニティの維持・再生・強化に資するため、関係機関・団体・住民と連携を図り、地域の特性や資源を活用した地域振興活動を行っている。						
支援員数	2名		活動時期	平成30年4月～			
活動地域	岩手県沿岸市町村						
活動内容	<p>岩手県沿岸13市町村を主会場として実施した「三陸防災復興プロジェクト2019」(6月1日～8月7日実施)に係る個別担当事業等において各種調整や当日の運営を行った。実施にあたり、関係団体と沿岸市町村のつながりを深めるべくより多くの地元団体や学生の参画をいただくような仕組みづくりに留意したほか、地元住民の方をはじめ県内外から多くの方に参加いただけるよう広報活動にも力を入れ取組んだ。また、次年度以降の事業継承についても、関係団体と調整を行っているところ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さんりく文化芸術祭2019 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の創作活動団体による作品展示(6/1～8/7実施) ・Reborn-Art Festivalとの連携企画である宮沢賢治を題材としたオペラ「四次元の賢治ー完結編ー」公演(7/13実施) ○三陸ジオパークフォトゲイニングフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸南部大会(6/15実施) ・沿岸北部大会(7/6実施) ○その他関連事業の補助等 						 
ホームページ	https://www.facebook.com/iwate.fukko.ouen/		配属地域概要	人口	1,226,430 人	高齢化率	33.1 %
問合せ先	所属	岩手県政策地域部地域振興室	被災状況	面積	15,275.01 km ²		
	担当者	作山 裕子		備考	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	5,787 人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	019-629-5194	配属地域概要及び被災状況は、岩手県全体の数値				
メールアドレス	AB0007@pref.iwate.jp						

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名	大船渡市復興支援員(災害公営住宅コミュニティ支援員)	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	公益財団法人共生地域創造財団

概要 災害公営住宅において、自治会の総会や規約作りのサポートを行うことで、運営を軌道に乗せ、入居者間の支え合いの体制の構築を図っている。また、地域交流活動を通して、既存の地域コミュニティとの連携推進に向けた橋渡しを行うことで、コミュニティの再構築を図っている。

支援員数	4	活動時期	平成26年4月～
------	---	------	----------

活動地域	市内災害公営住宅(25箇所)
------	----------------

活動内容

- 自治会運営のサポート
総会や役員会を開催するに当たり、進行方法や資料作り、議事録の作成方法等のアドバイスを行っている。
また、規約や集会所利用方法など、自治会のルール作りについてのアドバイスを行っている。
- 交流機会創出活動
各住宅のニーズを把握して実施機関へ繋ぎ、団地住民や地域住民との交流機会の場づくりを展開して地域交流の活性化を図っている。
- 各住宅で抱える課題解決への支援
各住宅では、役員の高齢化やイベントの担い手不足など、それぞれの事情に応じて様々な課題が発生しており、訪問活動を通して課題の把握と、解決に向けたアドバイスや関係機関との調整などのつなぎ支援を実施している。

ホームページ	http://from-east.org/		配属地域概要	人口	35,849人 (R1.12末現在)	高齢化率	37.09% (R1.12末現在)
問合せ先	所属	大船渡市都市整備部住宅公園課		面積	323.30km ²		
	担当者	古澤	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	419人	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	電話番号	0192-27-3111					
	メールアドレス	ofu_ju-ko@city.ofunato.iwate.jp	備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名	大船渡市観光振興支援員 (観光振興支援員)	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	一般社団法人大船渡市観光物産協会

概要	市の観光施設等に観光支援員を配置し、東日本大震災からの観光産業の早期再建及び地域コミュニティの再構築を図る。(観光情報の発信、観光及び物産関係イベントの支援・参加、体験型観光の推進、市内観光施設での観光案内、観光地の景観保全及び環境整備等の活動を展開)
----	--

支援員数	10名	活動時期	平成26年4月～
------	-----	------	----------

活動地域	岩手県大船渡市
------	---------

活動内容	<p>ホームページやSNSを活用した情報発信を行うとともに、市内はもとより、全国各地で開催される物産展等へ参加するなど、当市の観光PRや物産振興に努めている。</p> <p>また、旅行代理店に対し積極的に観光資源のPRを行い、教育旅行を含めた観光客誘致に努めているほか、滞在・体験型観光の推進による誘客に取り組んでおり、大船渡市の魅力発信に大きな役割を果たしている。</p>
------	---



ホームページ	www.sanriku-ofunato.or.jp		配属地域概要	人口	35,849人 (R1.12末現在)	高齢化率	37.09% (R1.12末現在)
問合せ先	所属	大船渡市商工港湾部観光推進室		面積	323.30km ²		
	担当者	金野 道程	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	419人	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	電話番号	0192-27-3111(内線113)					
	メールアドレス	ofu_ju-ko@city.ofunato.iwate.jp	備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。			

「復興支援員制度」 活用事例 ～岩手県大船渡市～

事業名	被災者世帯に対する パーソナルサポート事業	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	公益財団法人共生地域創造財団

概要	震災被害に伴う生活課題を抱えた人々に寄り添い、個々の課題の解決に向けて伴走型の再建支援(パーソナルサポート)を実施する。
----	--

支援員数	6名	活動時期	平成26年4月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県大船渡市内
------	----------

活動内容	<p>A. 訪問活動 在宅被災世帯および自宅再建世帯、災害公営住宅等を含めた把握世帯等の状況変化を察知するための継続的な経過確認訪問。</p> <p>B. 生活再建相談支援 調査訪問等により把握された生活再建課題に対し、必要とされる手続きやつなぎ支援を行うとともに、複合的な課題等、相談内容や状況に応じて地域支援体制をコーディネートする。</p> <p>C. 交流機会創出活動 孤立世帯・懸案世帯の交流機会を創るためのサロン・イベント等の開催およびコーディネートのほか、地域交流活動課題の相談・サポートを行う。</p> <p>D. その他 ケースカンファレンス、他支援機関との連携会議、共生社会を考える勉強会の開催など。</p>
------	--

ホームページ		配属地域概要	人口	35,849人 (R1.12末現在)	高齢化率	37.09% (R1.12末現在)
--------	--	--------	----	-----------------------	------	----------------------

問合せ先	所属	岩手県大船渡市生活福祉部地域福祉課	被災状況	面積	323.30km ²	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	担当者	小松 伸也		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	419人		
	電話番号	0192-27-3111(内線183)	備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。			
	メールアドレス	006143@city.ofunato.iwate.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名	大船渡市市民活動支援員	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	NPO法人おおふなと市民活動センター

概要	地域の復興・持続可能な地域への市民活動を行政、他地域の間接支援組織と連携しながらサポートし、交流・協働の活動基盤が構築できるよう活動しています。
----	--

支援員数	4名	活動時期	平成26年4月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県大船渡市
------	---------

活動内容	<p>【団体のネットワーク構築】 市民活動団体や震災復興支援団体など各種団体との情報交換、団体同士の協働推進に向けた情報整理、マッチング。</p> <p>【情報の見える化】 団体情報の収集・見える化、助成金・セミナーなどの情報発信。フェイスブックなどを活用した市内外への情報発信。</p> <p>【相談窓口対応】 各種団体の困りごとや課題など解決に向けた常設窓口の設置。</p> <p>【交流・協働のサポート】 市民活動団体や震災復興支援団体とのマッチング、交流イベント等の実施。各セクターの連携会議の運営や、フリースペースの提供。</p> <p>【スキルアップ支援】 市民活動を行なう上で必要とされる講座を月1回開催。 (資金調達、情報収集の方法、パワーポイント活用法など)</p>	 <p>相談窓口対応とフリースペースの様子</p>	 <p>スキルアップ支援(講座)の様子</p>
------	---	--	---

ホームページ	http://ofunatocity.com/		配属地域概要	人口	35,849人 (R1.12末現在)	高齢化率	37.09% (R1.12末現在)
問合せ先	所属	企画政策部市民協働準備室		面積	323.30km ²		
	担当者	菊地 正展	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	419人	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	電話番号	0192-27-3111(内線296)		備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。		
メールアドレス	ofunato@city.ofunato.iwate.jp						

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名		大船渡市椿利活用推進事業		事業実施主体		岩手県大船渡市	
				関係協力団体			
概要		市の花「椿」を活用した地域おこしを推進するため、復興支援員を設置し、小中学生等を対象とした植樹イベントの実施や椿学習プログラムの提供、椿油等を活用した商品開発に係る関係団体との調整等、「椿の里」づくりに向けた活動を展開している。					
支援員数		1名		活動時期		平成27年6月から	
活動地域		岩手県大船渡市内					
活動内容		<p>○市内の小中学校を対象に、椿学習プログラムの提供及び事務支援を行っている。当学習では、市と椿のかかわりの歴史や椿油の活用方法などを学ぶ機会としている。</p> <p>○民間企業からの寄附金等を活用し、小中学生等を対象にした椿の植樹イベントを実施している。植樹を行うことにより、植樹地はもとより、将来的な椿油の生産拡大を図ろうとするものである。</p> <p>○民間企業が椿油等を活用した商品を作る際に、原料や販売先の確保等の調整を行っている。市内企業では、これまで椿油を配合した化粧品や菓子、椿の葉を使ったお茶などが製造・販売されている。</p> <p>○市内の椿展示施設「世界の椿館・基石」を会場に毎春開催している三陸・大船渡つばきまつりに際し、椿にかかわるイベント支援や椿を活用した商品の販売に関する調整を行っている。</p>					
ホームページ		http://www.city.ofunato.iwate.jp		配属地域概要		人口 35,849人 (R1.12末現在)	
						高齢化率 37.09% (R1.12末現在)	
		面積 323.30km ²		被災状況		人的被害 419人 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	
問合せ先		所属 農林水産部農林課 担当者 森 正 電話番号 0192-27-3111(内線7121) メールアドレス 001738@city.ofunato.lg.jp		備考		住宅被害 2,791戸 (全壊)	
						建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。	



椿学習での椿の実集め

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県大船渡市 ～

事業名	大船渡駅周辺地区まちづくり活動支援員	事業実施主体	岩手県大船渡市
		関係協力団体	株式会社キャッセン大船渡

概要 被災した大船渡駅周辺地区において、市の中心市街地として復興を進めるため、持続的な賑わい創出を図る復興まちづくり計画の詳細検討や遂行支援、地域交流の活性化を図る取り組み等の支援を行っている。

支援員数	3名	活動時期	平成27年8月～
-------------	----	-------------	----------

活動地域 岩手県大船渡市(大船渡駅周辺地区)

活動内容

- まちづくりに係る被災事業者や地域住民等の関係者へのヒアリングやワークショップの実施、被災事業者等の事業計画等の策定支援
- 事業者や地域住民等の交流イベントの企画・運営支援、Web等を活用した情報発信



イベント開催の様子



子供向けイベント開催の様子



店主会開催の様子

ホームページ		http://kyassen.co.jp/		配属地域概要	人口	35,849人 (R1.12末現在)	高齢化率	37.09% (R1.12末現在)
問合せ先	所属	大船渡市災害復興局大船渡駅周辺整備室			面積	323.30km ²		
	担当者	佐藤 仁		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	419人	住宅被害 (全壊)	2,791戸
	電話番号	0192-27-3111(内線349)						
	メールアドレス	ofu_seibi@city.ofunato.iwate.jp		備考	建物用地の浸水面積が岩手県内最大。全壊・大規模半壊・半壊等の被災住宅は約4割。特に市街地の商業地が壊滅的被害。			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県陸前高田市 ～

事業名	陸前高田市復興支援員	事業実施主体	岩手県陸前高田市
		関係協力団体	NPO法人陸前高田市まちづくり協働センター 及び陸前高田ほんまる株式会社
概要	中心市街地の土地等の利活用を促進し、持続的な市街地形成を図るため、土地等に関する情報収集や調査、PR活動、土地利活用を推進する組織体制の整備に関する検討を行う。		

支援員数	1名	活動時期	平成30年4月～
------	----	------	----------

活動地域	岩手県陸前高田市
------	----------

活動内容	<p>①土地利活用を目的として設立される「まちづくり会社」の設立(～6月)及び運営(7月～)</p> <p>②中心市街地の活性化を図り新規出店誘導するための、まちなか広場及び交流施設ほんまるの家を活用したイベント企画や情報発信等</p> <p>③中心市街地事業者会(高田まちなか会)のPR等に活用するHP作成等会の活動支援</p> <p>④高田まちなか会の店舗PR及び新規出店事業者への説明に活用する「陸前高田まちなかマップ」の更新作業</p>
------	--



ホームページ	rt-honmaru.com		配属地域概要	人口	18,931人	高齢化率	39.08%
問合せ先	所属	陸前高田市都市計画課	被災状況	面積	231.94km ²		
	担当者	志田 一郎		備考	人的被害 (死亡者:身元判明者+死亡認定者)	1,757人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	0120-54-2111					
	メールアドレス	tosikei@city.rikuzentakata.iwate.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県釜石市 ～

事業名	釜石リージョナルコーディネーター(釜援隊)	事業実施主体	岩手県釜石市
		関係協力団体	一般社団法人RCF

概要 復興期における支援として、住民の身近な課題解決や住民間の合意形成を促すとともに、長期視点においては自立したまちづくりを目指し、市内団体の組織強化や団体間の連携に取り組む。目標管理や情報共有を円滑に進めるため、マネジメント機能を内包した組織体制となっている点が特徴。

支援員数	13名(R1.11月末時点)	活動時期	平成25年4月1日～
-------------	----------------	-------------	------------

活動地域	岩手県釜石市
-------------	--------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆コミュニティ・まちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅の見守り・市内NPOの連携強化 ・仮設や復興公営住宅の自治組織の運営支援 etc ◆産業 <ul style="list-style-type: none"> ・林業/漁業従事者の育成 etc ◆観光 <ul style="list-style-type: none"> ・オープンフィールドミュージアムの推進・民泊推進 ・食ブランド化推進 etc ◆福祉 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくり etc ◆マネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・隊員の業務管理、市内外への情報発信や団体間の連携 etc. 	 <p>復興公営住宅の自治組織支援</p>	 <p>漁業ツアー企画</p>
		 <p>子どもと地域の関わりづくり</p>	

ホームページ	http://kamaentai.org https://www.facebook.com/kamaentai		配属地域概要	人口	33,051人 (R1.11月末)	高齢化率	39.2%(R1.11月末)
	所属	釜石市総務企画部総合政策課 オープンシティ推進室		面積	440.34km ²		

問合せ先	担当者	石井 重成	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	1,040人	住宅被害 (全壊)	2,957戸
	電話番号	0193-27-8463					
	メールアドレス	opencity@city.kamaishi.iwate.jp					

備考	
-----------	--

事業名	大槌町復興推進隊	事業実施主体	岩手県大槌町
		関係協力団体	大槌町復興推進隊運営協議会、新おおつち漁業協同組合 一般社団法人大槌町観光交流協会

概要 大槌町復興推進隊は、観光物産品の販売促進、地域行事の支援、情報発信の強化、交流人口の拡大及びコミュニティ活動の活性化といった当町の課題に取り組んでいる。

支援員数	4名	活動時期	平成27年2月～令和2年3月
------	----	------	----------------

活動地域	岩手県大槌町
------	--------

活動内容	1 地域水産業振興 ・魚市場、製氷施設等の運営企画及び高度衛生品質管理体制の構築支援 ・地域水産物の販売支援、販路開拓、地域ブランド強化 2 地域産業振興 ・キッチンカープロジェクトなどの後方支援 ・地場産品の開発やブランディングへの支援 3 地域おこし ・地域行事及び地域コミュニティ活動の活性化を目的とした支援 ・交流人口の拡大を目的とした地域イベントの企画及び運営	 <p>大槌産業まつりでのイベント企画</p>	 <p>地域水産物の販売支援</p>
------	---	--	---

ホームページ	http://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/		配属地域概要	人口	11,925人	高齢化率	36.50%
--------	---	--	--------	----	---------	------	--------

問合せ先	所属	企画財政課	被災状況	面積	200.4m ²	住宅被害 (全壊)	4,167戸
	担当者	平野		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,286人		
	電話番号	0193-42-8712		備考			

メールアドレス	kikaku@town.otsuchi.iwate.jp		備考				
---------	------------------------------	--	----	--	--	--	--

事業名	やまだ復興応援隊 事業	事業実施主体	岩手県山田町
		関係協力団体	

概要	行政と住民及び町内外の団体・企業と連携しながら、観光分野の復興を加速させ、人口流出抑止及び交流人口拡大を実現し、地域コミュニティの維持・地域活性化を図る。
-----------	---

支援員数	1人	活動時期	平成26年6月1日～
-------------	----	-------------	------------

活動地域	岩手県山田町
-------------	--------

活動内容	1 観光関連事業の企画運営 (1) 観光関連事業(ツアー・体験イベント等)事業化に向けた検討 (2) 観光商材の開発支援及び情報発信・観光客誘致活動など (3) 観光協会の活動支援	●そば作り体験 
	2 農山漁村の地域活性化支援	●漁業体験学習(教育旅行) 

町の特産品PRと生産者との交流を目的にしたイベント、体験学習等をコーディネート

ホームページ	http://www.yamada-kankou/wonderful-taiken	配属地域概要	人口	15,340人	高齢化率	39%
---------------	---	---------------	-----------	---------	-------------	-----

問合せ先	所属	山田町復興コーディネーター協議会	被災状況	面積	263.45km ²
-------------	-----------	------------------	-------------	-----------	-----------------------

問合せ先	担当者	服部、千代川	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	824人	住宅被害 (全壊)	2,762戸
-------------	------------	--------	-------------	----------------------------------	------	---------------------	--------

問合せ先	電話番号	0193-82-3111(内線227)	備考	街の中心部に甚大な被害
-------------	-------------	---------------------	-----------	-------------

問合せ先	メールアドレス	info@yamada-fc.org
-------------	----------------	--------------------

「復興支援員制度」活用事例 ～ 岩手県岩泉町 ～

事業名	岩泉町地域づくり	事業実施主体	岩手県岩泉町
	支援協議会事業	関係協力団体	岩泉町地域づくり支援協議会

概要	単なる震災被害の復旧だけではなく、新たな地方の価値を創造し、長期的な視点に立った町全体の振興発展に向け、復興支援員を設置し、町全域でのコミュニティの再構築を図るよう、賑わい、一次産業の付加価値創出などの活動を展開している。		
----	---	--	--

支援員数	4名(令和元年12月末)	活動時期	平成27年4月～
------	--------------	------	----------

活動地域	岩手県岩泉町全域
------	----------

活動内容	<p>本プロジェクトでは、復興に向けて町の資源に新しい価値を付け、交流人口の増加及び定住人口の確保を行うとともに、被災者コミュニティ、若者コミュニティを復活させ、将来において、支えあうコミュニティ、元気なコミュニティの構築を目指し、活動しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご当地グルメの普及活動を通しての町PR ・被災地の公共施設を活用した新たな賑わいの創出支援 ・若者コミュニティ形成・雇用創出・移住定住の促進 ・放射性物質被害および風評被害を克服するための一次産業の付加価値創出およびPR事業 ・Facebookページ「岩泉町地域づくり支援協議会」での情報発信 <p style="text-align: right;">など</p> <p>※上記の事業は、岩泉町役場をはじめ、商店街や各事業所、組織等と連携して継続実施</p>	 
------	--	--

ホームページ	https://www.facebook.com/岩泉町地域づくり支援協議会-1004771769552723/	配属地域概要	人口	9,158人	高齢化率	43.47%
--------	---	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	岩泉町 政策推進課	被災状況	面積	992.36km ²	住宅被害 (全壊)	177戸
	担当者	三上 高人		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	13人		
	電話番号	0194-22-2111(内線403)	備考	町東部の小本地区に甚大な被害。町全域で風評被害。			
	メールアドレス	t.mikami@town.iwaizumi.lg.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県岩泉町 ～

事業名	農業による雇用創出	事業実施主体	岩手県岩泉町
	インストラクター事業	関係協力団体	一般社団法人岩泉農業振興公社

概要 震災による被災、復興関連事業への就業、高齢化等で離農する農業者の増加及び遊休化する農地の増加が加速している実情から、本町の震災復興計画の目標の一つとして掲げている「産業経済の再生」を目指すため、遊休農地等の有効活用を図り、新たに就農しようとする者、農業労働従事者として就業しようとする者を支援し、農業人材の育成と、農業での雇用創出を生み出す活動を展開し、もって産業振興を通じた地域コミュニティ支援を推進するもの。

支援員数	2名(令和元年12月末)	活動時期	平成28年1月～
------	--------------	------	----------

活動地域 岩手県岩泉町内全域

活動内容 本プロジェクトは、就農希望者を受入れる人材育成や地域環境に即し所得につながる作物の推奨と栽培指導を行うなど、就農～栽培指導～販売支援までをトータルにサポートするインストラクターを確立し、震災で疲弊する地域農業の振興を図り、農業人材の育成と農業での雇用創出を目的に活動しています。

- ・就農希望者の受入れ、就農できる体制整備と組織整備
- ・農業による就業体制の整備(農業での雇用体系整備)
- ・経営が成立する作物の調査・研究
- ・販路や加工等での換金体制の整備
- ・栽培作物の産地となるための指導方法を確立
- ・被災農家等耕作の応援が必要な農家に対する耕作応援



ホームページ		http://www.town.iwaizumi.lg.jp/		配属地域概要	人口	9,158人	高齢化率	42.54%
問合せ先	所属	岩泉町 農林水産課			面積	992.36km ²		
	担当者	加藤 康二		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	13人	住宅被害 (全壊)	177戸
	電話番号	0194-22-2111(内線542)						
	メールアドレス	koji.kato@town.iwaizumi.lg.jp		備考	町東部の小本地域に甚大な被害。町全域で風評被害			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県岩泉町 ～

事業名	小本地域資源利活用施設 運営支援員事業	事業実施主体	岩手県下閉伊郡岩泉町
		関係協力団体	小本浜漁業協同組合

概要 被災した小本地域は、公共施設や商店及び若年世帯などが移転し、高齢世帯や空き地が点在している状況であり、被災集落に集いの場を確保し、地域コミュニティの再構築とイベント等の開催により地域活性化を図るため、海産物等の販売施設を整備し、その施設運営支援を行い、被災地域の復興を後押しする。

支援員数	2名(令和元年12月末)	活動時期	平成30年4月～
------	--------------	------	----------

活動地域	岩手県岩泉町小本地域
------	------------

活動内容	<p>本プロジェクトは、被災地域の活性化を図るため整備した施設を活用し、地域水産物等の販売支援や定期的 に開催するイベント等の企画運営等を行い、被災地域 に賑わいを取り戻す活動を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元海産物等の厳選、仕入・販売支援 ・地元生産者との調整、販路拡大取り組み支援 ・定期市(毎月)やイベント等の企画運営 ・収支や経営分析等の運営支援 ・販売状況などの課題、対策検討、安定経営の取り組み支援 	 
------	--	--

ホームページ		http://www.town.iwaizumi.lg.jp/		配属地域 概要	人口	9,158人	高齢化率	42.54%
問合せ 先	所属	岩泉町 農林水産課			面積	992.36km ²		
	担当者	佐々木 忠明		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判 明者+死亡認定者)	13人	住宅被害 (全壊)	177戸
	電話番号	0194-22-2111(内線543)						
	メールアドレス	tadaaki.s@town.iwaizumi.lg.jp		備考	町東部の小本地域に甚大な被害。町全域で風評被害			

事業名	のだむら復興応援隊事業	事業実施主体	岩手県野田村
		関係協力団体	

概要	地域住民や関係団体等が協働し、被災地域や住民が主体で進める復興のまちづくりを支援するため、村内外の外部人材を「のだむら復興応援隊」として受入れ、様々な活動を展開することにより、地域コミュニティの継続・活性化を図る。
----	---

支援員数	3名	活動時期	平成27年4月～令和2年3月31日
------	----	------	-------------------

活動地域	岩手県野田村内
------	---------

活動内容	<p>主に次の活動を展開することにより、地域コミュニティの継続・活性化を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地域情報発信活動 ②農林水産業への新規就業支援・実践活動 ③食産業の活性化支援・実践活動 ④都市住民等との交流拡大事業の企画・実施 ⑤都市住民等の移住拡大事業の企画・実施 ⑥出会いの機会創出のための交流事業の企画・実施 ⑦地域行事、伝統行事等コミュニティ活動への参加 など 	
------	--	--

ホームページ	http://www.vill.noda.iwate.jp/	配属地域概要	人口	4,220人	高齢化率	37.01%
--------	---	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	岩手県野田村総務課	被災状況	面積	80.80km ²	住宅被害 (全壊)	311戸
	担当者	小野寺 修一		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	38人		
	電話番号	0194-78-2111	備考	家屋の被害：515棟(村内の約1/3の家屋が被災) 街の中心部に甚大な被害			

メールアドレス	soumu_syo@vill.noda.iwate.jp
---------	------------------------------

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県野田村 ～

事業名	村の元気発信と地域間交流促進事業	事業実施主体	岩手県野田村
		関係協力団体	野田村観光協会

概要 村内外の幅広い世代が参画する地域イベントを開催し、その状況や復興状況をSNSなどで村内外へ発信するとともに、震災ガイドを実施し震災当時の記憶の風化を防ぎ、地域力の再生、強化を図る。

支援員数	1名	活動時期	平成29年6月～(1年ごとの更新・最長で令和2年度まで)
------	----	------	------------------------------

活動地域	岩手県野田村内
------	---------

活動内容	<p>主に次の活動を展開することにより、地域コミュニティの継続・震災の記憶の防止を含めた情報の発信を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①世代間及び地域間交流企画 ②震災ガイド研修 ③震災ガイド受入れ ④地域情報配信(SNS) など 		
------	--	--	--

ホームページ	http://www.vill.noda.iwate.jp/		配属地域概要	人口	4,220人	高齢化率	37.01%
--------	---	--	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	岩手県野田村総務課	被災状況	面積	80.80km ²	住宅被害 (全壊)	311戸
	担当者	小野寺 修一		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	38人		
	電話番号	0194-78-2111	備考	家屋の被害:515棟(村内の約1/3の家屋が被災)街の中心部に甚大な被害			
	メールアドレス	soumu_syo@vill.noda.iwate.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 岩手県野田村 ～

事業名	地域福祉事業	事業実施主体	岩手県野田村
		関係協力団体	企業組合労協センター事業団

概要	野田村東日本大震災津波復興計画等に基づき、被災者の暮らしの再建に係る施策を推進し、被災者等の見守りやケアなど住民生活の復興支援を図る。
-----------	---

支援員数	8名	活動時期	平成27年4月～(1年ごとの更新・最長で令和2年度まで)
-------------	----	-------------	------------------------------

活動地域	岩手県野田村内
-------------	---------

活動内容	<p>主に次の活動を展開することにより、被災者の見守りやケアなど住民生活の復興支援を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サロン事業(地域拠点) ②地区サロン事業 ③福祉有償移送サービス ④買い物代行支援サービス ⑤生活支援サービス ⑥高齢者等安否確認サービス など 	
-------------	---	--

ホームページ		http://www.vill.noda.iwate.jp/		配属地域概要	人口	4,220人	高齢化率	37.01%
問合せ先	所属	岩手県野田村総務課			面積	80.80km ²		
	担当者	小野寺 修一		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	38人	住宅被害 (全壊)	311戸
	電話番号	0194-78-2111						
	メールアドレス	soumu_syo@vill.noda.iwate.jp		備考	家屋の被害:515棟(村内の約1/3の家屋が被災) 街の中心部に甚大な被害			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 宮城県石巻市 ～

事業名	石巻市中央地区 復興応援隊設置業務	事業実施主体	宮城県石巻市
		関係協力団体	公益社団法人3.11みらいサポート

概要	東日本大震災に正面から向き合う、主体性を持った住民・地域団体による震災伝承の取組みを促進し、震災伝承の拠点や活動を核に地域を越えて震災伝承活動でつながるコミュニティの構築に向けた活動を行っている。
----	--

支援員数	3名	活動時期	平成24年12月～
------	----	------	-----------

活動地域	宮城県石巻市中央地区
------	------------

活動内容	<p>本事業の実施により、復興祈念公園や震災遺構整備完了後の持続可能性を見据えた市民主体の伝承体制づくりが推進されるとともに、住民主体により設立された広域のネットワーク組織と連動して住民活動の幅も広がっており、東日本大震災の教訓を伝える担い手がつながるテーマ型コミュニティの再構築を実現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○3.11メモリアルネットワーク事務局サポートを通じ、震災伝承活動の連携・企画・育成を支えることにより、被災各地の多様な協働・相互学習への参画が生まれると共に、多様な支援による活動の持続性向上を目指している。 ○南浜津波復興祈念公園の参加型協議会、避難行動の聞き取り、展示施設でのつながりづくり等を通じて、旧門脇小遺構や祈念公園での伝承のあり方を住民主体で考える機運を醸成している。 ○大川地域における震災伝承プログラムとの連携や英語での語り部・ガイドの練習など、石巻が震災の総合的理解を深める場となることを見据え地域住民とともに新たな活動に挑戦している。 ○防災マップ制作支援等を行ってきた市内小学校から、震災を知らない地域の子ども達へ被災写真の説明や語り部の依頼があり、要望の変化に応じ、柔軟な防災教育サポートを実施している。
------	---



ホームページ				配属地域概要	人口	100,580人	高齢化率	30.82%
問合せ先	所属	石巻市復興政策部震災伝承推進室		被災状況	面積	136.25km ²		
	担当者	小泉			人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	2,626人	住宅被害 (全壊)	18,593戸
	電話番号	0225-95-1111						
	メールアドレス	isdilore@city.ishinomaki.lg.jp		備考	旧北上川沿いの無提地区は、川からの津波による浸水被害を受け、内陸部においても排水路等を逆流した津波により浸水被害を受けた。			

事業名	石巻市雄勝地区 復興応援隊設置業務	事業実施主体	宮城県石巻市
		関係協力団体	特定非営利活動法人 雄勝まちづくり協会

概要	石巻市における雄勝地区復興プロジェクト「地域が主役の元気なまちの創造」を支援するため、石巻市と協力して復興応援隊を派遣し、被災地の復興支援を行う
----	--

支援員数	3名	活動時期	平成24年7月～
------	----	------	----------

活動地域	宮城県石巻市雄勝地区
------	------------

活動内容	<p>『住民主体のまちづくり「地域が主役の元気なまちの創造」支援』 ○地域コミュニティ紙「月刊おがつ」を毎月発行しながら、地域外に居住する元住民への情報提供を行い、地域内外の繋がりをつくる</p> <p>○交流スペースや地域集会所を活用した住民協働支援を行い協働の意識醸成を図るとともに、支援者とのマッチングを調整し、地域課題解決に取り組む</p> <p>○仮設商店街や支援団体と連携した地域PR活動により、地域と来訪者をつなげ地域活性化を目指す</p>	
------	---	--

ホームページ	http://ogatsu-fukkou.blogspot.com/		配属地域概要	人口	1,253人	高齢化率	55.79%
--------	---	--	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	宮城県石巻市雄勝総合支所地域振興課	被災状況	面積	46.12km ²	住宅被害 (全壊)	1,304戸
	担当者	高橋		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	243人		
	電話番号	0225-57-2111	備考	雄勝地区の中心部は、618世帯のうち96%が全壊し、人口や約1/4にまで激減し、現在の地区内居住者は約1,300人となっている。			
	メールアドレス	oglocpromo@city.ishinomaki.lg.jp					

事業名	石巻市北上地区 復興応援隊設置事業	事業実施主体	宮城県石巻市
		関係協力団体	一般社団法人ウィーアーワン北上

概要 震災からの一日も早い復興を目指し、被災地の地域づくりを目的とした住民主体の地域活動を促進するため、関係団体と連携して、北上地区の地域の復興に向けて意欲的に取り組む人材を内外から募って「復興応援隊」を結成し、一定期間、地域住民の活動支援に従事する。

支援員数	3名	活動時期	平成24年12月～
------	----	------	-----------

活動地域 石巻市北上地区

活動内容

『住まいと暮らしの復興』
 ○移転後の地域での集会所、自治組織の運営に関するワークショップ実施の支援。
 ○集落实態調査・集落機能、課題、従前地利活用等の聞き取り
 ○規模やニーズにあった自治会・コミュニティー形成支援/自治会再編・サロン・サークル、文化活動等の社会資源再構築

『地域活性化支援』
 ○北上地域の情報発信
 復興かわら版/復興情報・北上地域の情報を発信(WEB版構築)
 ○地域外との交流促進
 ○イベント支援(住民サロン、住民サークルや住民文化活動団体が主体イベントの支援に特化)



ホームページ		配属地域概要	人口	2,382人	高齢化率	41.56%
問合せ先	所属		宮城県石巻市北上総合支所地域振興課	面積		60.98km ²
	担当者	佐々木 洋介	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	535戸
	電話番号	0225-67-2111				
	メールアドレス	ktlocpromo@city.ishinomaki.lg.jp		備考	太平洋や北上川河口付近(北上大橋より下流)に面している低平地の集落は概ね津波の被害を受けた。	

事業名	石巻市牡鹿地区 復興応援隊設置業務	事業実施主体	宮城県石巻市
		関係協力団体	一般社団法人 鮎川まちづくり協会

概要	石巻市における牡鹿地区復興プロジェクト「地域の思いを具現化するまちづくり」を支援するため、石巻市と協力して復興応援隊を派遣し、被災地の復興支援を行うものである。
----	--

支援員数	5名	活動時期	平成24年8月～令和元年8月31日
------	----	------	-------------------

活動地域	宮城県石巻市牡鹿地区
------	------------

活動内容	<p>石巻市牡鹿地区の実情に応じた住民主体の地域活動「地域の思いを具現化するまちづくり」の実現に向けて以下の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○鮎川港まちづくり協議会の開催支援として、地域住民が主体となった拠点施設運営が行えるよう、毎月1回程度の協議会もしくは部会活動を実施し、地域住民の意識の向上とノウハウの獲得、ソフト事業の立ち上げを目指す。 ○移動型トレーラ休憩所の自治会支援を行い、観光協会・船会社・地域青年団・商店街の橋渡し役となり、住民自治の意識向上と結びつきの強化を図る。 ○復興情報誌の発行、WEBサイトの作成及び牡鹿インフォメーションの維持・管理を行いながら、牡鹿地域的话题を発信し、被災によって失われた地域の結びつきを取り戻す。また、地域住民や地域で活動する団体に向けて、地域の魅力を地域外に向けて発信することの楽しさや有用性の気づきを与え、交流人口増加に繋げる。 ○地域おこしイベントの開催を行い、地域の活気を取り戻し、地域外からの誘客を目指しながら、地域が主体的に企画・運営できるようサポートを行う。また、イベントに参画する個人・団体の増加や、新しいイベント企画の誘発を目指す。
------	--



ホームページ			配属地域概要	人口	2,489人	高齢化率	49.34%
問合せ先	所属	宮城県石巻市牡鹿総合支所地域振興課	被災状況	面積	72.97km ²		
	担当者	松川		備考	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	119人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	0225-45-2114	震災前は4,500人が住んでいた地区であり、市内において震源地に一番近く、早い段階で津波が到達し、多くの被害を出した				
	メールアドレス	oslocpromo@city.ishinomaki.lg.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

事業名	自治会活動支援事業	事業実施主体	気仙沼市
		関係協力団体	

概要
 既存自治会や応急仮設住宅の自治組織の運営支援等を行う「地域支援員」を配置。住民同士が互いに支え合う地域づくりに取り組み、コミュニティの維持・振興を図る。
 また、震災により整備された災害公営住宅や土地区画整理事業区域内等における新しいコミュニティ形成支援を行う。

支援員数	7名	活動時期	平成24年4月～
------	----	------	----------

活動地域	気仙沼市内
------	-------

活動内容

- 地域コミュニティ形成等の支援
 - ・新たな自治組織の設立に向けた代表者会議や住民交流会、災害公営住宅内のコミュニティ形成のための意見交換会等の開催。
 - ・交流の拠点となる集会施設の管理、施設を活用した住民交流活動の企画や運営協力。
 - ・仮設住宅退去後の移転先での円滑なコミュニティ参加のための情報提供やコミュニティペーパーの発行及び相談対応。
 - ・仮設住宅からの退去に伴う自治組織解散後の入居者に対して、定期的に訪問・声掛けや空室確認を実施。
- 自治組織の運営・活性化に係る支援
 - ・自治組織へ交付する市補助金や県等の補助事業の活用相談対応。
 - ・震災により解散した自治組織の活動再開に向けた活動支援。



住民交流事業として「防災訓練」を実施

ホームページ		配属地域概要	人口 (R2.11月末現在)	62,724人	高齢化率	37.7%
			面積	332.44km ²		
問合せ先	所属	震災復興・企画部地域づくり推進課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	8,483戸
	担当者	主幹兼係長 菅原昌倫		1,216人		
	電話番号	0226-22-3409				
	メールアドレス	chiiki@kesenuma.miyagi.jp	備考	浸水面積：18.65km ² 、焼失面積：2.48km ² 、被災事務所：3,314事業所、被災従業者：25,236人		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

事業名	担い手育成支援事業	事業実施主体	気仙沼市
		関係協力団体	(受託団体)一般社団法人まるオフィス

概要 震災前には、まちづくりに参加、参画の少なかった若い世代が、震災を契機としてまちづくりに関わる事例が増えている。こうした意欲ある若い世代が交流・議論する機会をつくとともに、具体的な実践活動のサポートを通じてまちづくりの担い手育成を行う。まちづくりの担い手としての意識の醸成と参画機会の創出を図る。

支援員数	4名	活動時期	平成25年4月～
------	----	------	----------

活動地域	気仙沼市内
------	-------

活動内容

- 「気仙ぬま塾」「ぬまトーク」の実施
 - ・地元の先輩方を講師に招き、先輩たちにとってのライフワークと地域のつながりを知ることにより、若者が地域に対する想いを学ぶことを目的とする。
- 「ぬま大学」の実施
 - ・半年間のプログラムを通して地域活性化プランを作成する地域コミュニティに関する実践型勉強会。若者の地域に対する当事者意識を醸成するとともに、企画力の育成等を行っている。
- 「気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード」の実施
 - ・地域に関する課題について、自らのプロジェクトの作成・発表を行う。プロジェクトを磨いていく作業を通し、地域に関心を持ち、地域に貢献したいという意欲を醸成することで、高校生のまちづくりへの参加意識の向上を図る。
- 「ぬま大学ラボ」の実施
 - ・企業やNPOなどのまちづくりを考える若者と市若手職員の30人により、グループワークや対話を通じてプロジェクトを作成。市民、市職員という立場を超えて、つながりを拡大していくことを期待している。今年度より実施。



ホームページ	http://numa-ninaite.com/		配属地域概要	人口	62,724人	高齢化率	37.7%
問合せ先	所属	震災復興・企画部地域づくり推進課		面積	332.44km ²		
	担当者	主事 松川	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,216人	住宅被害 (全壊)	8,483戸
	電話番号	0226-22-3409					
	メールアドレス	chiiki@kesennuma.miyagi.jp		備考	浸水面積：18.65km ² 、焼失面積：2.48km ² 、被災事務所：3,314事業所、被災従業者：25,236人		

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

事業名	地場産業再生支援事業	事業実施主体	宮城県気仙沼市
		関係協力団体	気仙沼市物産振興協会

概要 震災後、就労の場が減少し、人口流出・高齢化が加速した本市において、地域経済の好循環を生み出し、新たな雇用の場を創出することにより、定住環境を整備し、地域コミュニティの再構築につなげるもの。

支援員数	5名	活動時期	平成31年4月～令和2年3月
------	----	------	----------------

活動地域 宮城県気仙沼市 他

活動内容

- 地場産品のネットショップ等販売支援
ネットショップ「ホヤぼーやセレクトショップ気仙沼」の企画・運営等を通じ、震災により販路を失った本市地場産品の販売支援を行う。
- 物産販売施設等での販売促進プロモーション等支援
本市の観光物産の中核施設「海の市」と連携し、集客イベントの企画・広報・運営を支援する。
- 「気仙沼朝市」活動支援
地域コミュニティとしての役割を果たす「気仙沼朝市」の取組を推進するため、勉強会等を企画・運営する。




ホームページ	https://store.shopping.yahoo.co.jp/kesennu-market/		配属地域概要	人口	62,668人	高齢化率	37.4%
	面積	332.44km ²					
問合せ先	所属	産業部商工課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,218人	住宅被害 (全壊)	8,483戸
	担当者	主幹 近藤 大介					
	電話番号	0226-22-6600 内線347					
	メールアドレス	shoko@kesennnuma.miyagi.jp	備考	浸水面積：18.65km ² 、焼失面積：2.48km ² 、被災事業所：3,314 被災従業者：25,236人			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県気仙沼市 ～

事業名	ICT関連産業推進復興支援員	事業実施主体	宮城県気仙沼市
		関係協力団体	株式会社クロス・スター

概要	人口減少対策や新産業創出、地域コミュニティ再生の観点から、地域における課題をITで解決することを目指し、IT企業と市民の橋渡しを行いながら地域に寄り添った復興支援を行う。
----	---

支援員数	1名	活動時期	平成31年4月1日～令和2年3月31日
------	----	------	---------------------

活動地域	宮城県気仙沼市
------	---------

活動内容	<p>○支援員はIT企業と住民を繋ぎながら、地域の課題抽出や市民のためのアプリ開発作業をサポート。 ○子どもからシニアまでの市民を対象とした、プログラミング講座の開催・運営を実施。</p> 
------	--

ホームページ	https://koharagi-ict.com/	配属地域概要	人口 (11月末時点)	62,724人	高齢化率	37.7%
--------	---	--------	----------------	---------	------	-------

問合せ先	所属	気仙沼市産業再生戦略課	被災状況	面積	332.4km ²	住宅被害 (全壊)	8,483戸
	担当者	岡崎 俊明		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,216人		
	電話番号	0226-22-3432	備考	浸水面積：18.65km ² 、焼失面積：2.48km ² 、被災事業所：3,314事業所、被災従業者：25,236人			
	メールアドレス	senryaku@kesenuma.miyagi.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県多賀城市 ～

事業名	被災自治会・町内会再生事業	事業実施主体	宮城県多賀城市
		関係協力団体	一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

概要 住民自治の視点からの復興促進と、市が行う各種復興事業の円滑化を目的として、東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に対し地域支援員を派遣し、住民自治活動の側面支援を行う。市内4つの災害公営住宅の完成後は、自治会の設立や運営支援、その立地地区の町内会を中心に活動。

支援員数	2名	活動時期	平成24年8月1日～
------	----	------	------------

活動地域 宮城県多賀城市内

活動内容	 <p>災害公営住宅住民同士や地域住民との交流を促進するため、サークル活動の支援を実施。</p>	 <p>市内4か所の災害公営住宅自治会に対して、活動の自走化を目指した伴走型の運営支援を実施。</p>	 <p>日常的に、地域会合への参加を通じた住民との対話や、まちあるき等を行い、地域課題や資源を掘り起こし、それを「地域支援員だより」として定期的に情報発信。</p>
-------------	---	---	---

ホームページ		配属地域概要	人口	62,428人	高齢化率	24.3%
問合せ先	所属		総務部地域コミュニティ課	面積		
	担当者	市民活動推進係 主査 船木崇雄	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	1,746戸
	電話番号	022-368-1141 内線251		備考		
	メールアドレス	Simin-power@city.tagajo.miyagi.jp				

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県東松島市 ～

事業名	東松島市復興まちづくり推進員 設置業務	事業実施主体	東松島市
		関係協力団体	一般社団法人 東松島ひとまちネット

概要 震災からの復興に向けて集団移転団地への居住や災害公営住宅への入居が進む中、集団移転団地内や災害公営住宅団地内及びその受入地域が市民主体のまちづくりに必要なコミュニティ形成を行うため、地域行事や自治組織の運営において、新しいコミュニティが主体的に活動していくための側面支援を行う。

支援員数	6名	活動時期	平成31年4月～令和2年3月
------	----	------	----------------

活動地域 宮城県東松島市野蒜・あおい・赤井・小松・大曲・矢本西地区などを中心とした市内全域

活動内容

○地域コミュニティの自治力の醸成を図るため、集団移転団地や災害公営住宅及びその受入地域を対象に、まちづくり協議会や自治会への情報提供や会議運営、地域行事の運営支援を行うことで市民主体のまちづくりの醸成やコミュニティ形成の推進を行った。

○子育て世代の女性のまちづくりに対する参加意識を喚起することを目的に「ママサロン」を主催し、サロンのような場で同世代間の交流や復興プロセスへ反映するための様々な意見を聴取するなど、まちづくりへの参加意識の高揚を図った。



【災害公営住宅受入地域への住民説明会支援の様子】



【大曲地区ママサロンの様子】

ホームページ		https://ameblo.jp/hitomachinet/		配属地域概要	人口	39,775名	高齢化率	28.91%
問合せ先	所属	東松島市総務部市民協働課			面積	101.86km ²		
	担当者	協働推進班 高橋		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,133名	住宅被害 (全壊)	5,519戸
	電話番号	0225-82-1111(内線3804)						
	メールアドレス	kyodo@city.higashimatsushima.jp		備考	津波浸水面積37km ² (36%) 建物用地12km ² のうち8km ² 浸水(65%)			

「復興支援員制度」活用事例 ～ 宮城県東松島市 ～

事業名	東松島市復興まちづくり推進員 設置業務	事業実施主体	東松島市
		関係協力団体	

概要 持続可能な観光まちづくりの実現に向け、平成30年10月にオープンした宮城オルレ奥松島コースの整備や観光客のガイドとして、被災した地域の観光資源の磨き上げや情報発信により観光復興に寄与するとともに地域や学校の行事にも参画し、地域おこしや文化振興の支援を行う。

支援員数	1名	活動時期	令和元年8月～令和2年3月
------	----	------	---------------

活動地域 宮城県東松島市宮戸地区を中心とした市内全域

活動内容

○宮城オルレ奥松島コースの利用者が安全かつ快適に利用できるよう月1回程度コース点検を行い、倒木や折れて散らかった枝の処理、また草刈り作業等、コース整備を行っている。

○観光資源の磨き上げや情報発信するとともにトレッキングツアーやオルレイベント時にはガイドとして絶景ポイント、文化、特産品等の魅力を伝えるなど地域おこしや文化振興の支援を行っている。



【オルレコースの倒木処理】



【ガイドの様子】

ホームページ		配属地域概要	人口	39,775名	高齢化率	28.91%
問合せ先	所属		東松島市総務部市民協働課	面積		
	担当者	協働推進班 高橋	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	5,519戸
	電話番号	0225-82-1111(内線3804)				
	メールアドレス	kyodo@city.higashimatsushima.jp	備考	津波浸水面積37km ² (36%) 建物用地12km ² のうち8km ² 浸水(65%)		

事業名	丸森町復興支援員	事業実施主体	宮城県丸森町
		関係協力団体	一般社団法人筆甫地区振興連絡協議会

概要 地域力の維持活性化及び東日本大震災からの地域コミュニティの再構築を図るため、丸森町復興支援員を設置し、自治組織の運営支援や地域の魅力発信、若者が地域活動に関わるための仕組み作り等のコミュニティ活性化に向けた活動を中心に展開している。

支援員数	1	活動時期	平成27年4月～令和2年3月
------	---	------	----------------

活動地域 宮城県丸森町筆甫地区

活動内容

- 筆甫ファン獲得イベントを令和元年11月に仙台で実施し、台風災害後の様子も含め、筆甫の現状と魅力を紹介し、筆甫ファンの獲得に努めた。12月に行った筆甫クリーンアップ大作戦への参加にもつながった。
- 地域体験ツアーの実施。(草刈りやへそ大根づくり体験、空き家再生プロジェクトなど)参加した学生ボランティア等と地区民との交流が生まれた。
- 地域の復興を目的として住民自身ができることをアイデアとして出し合い行動に移すため、継続して議論を積み重ねた結果、身近な地域資源(森林残材・森林資源)を活用した再生可能エネルギー推進取組の具体化についてサポートを行った。



ホームページ	http://www.town.marumori.miyagi.jp/kikakuzais/ei/kikaku/hukkousien.html		配属地域概要	人口	528人	高齢化率	54.55%
	面積	74.02km ²					
問合せ先	所属	宮城県丸森町企画財政課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	0人	住宅被害 (全壊)	0戸
	担当者	窪田高広					
	電話番号	0224-72-3024	備考	震災後、福島県との境に位置する本町では、原発事故への対応や風評被害等が課題となり、以前に増して過疎化・高齢化に拍車がかかっている。			
メールアドレス	sousei@town.marumori.miyagi.jp						

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県① ～

事業名	福島県復興支援(専門)員	事業実施主体	福島県
		関係協力団体	①(一社)ふくしま連携復興センター ②特定非営利活動法人あぶくま地域づくり推進機構

概要	①復興支援員等のサポートや復興関連施策の企画立案等 ②阿武隈地域の帰還促進、帰還者のコミュニティづくりの支援等
----	--

支援員数	①延べ7名(定員5名) ②3名	活動時期	①平成26年3月～、②平成27年4月～
------	--------------------	------	---------------------

活動地域	①福島県全域、②阿武隈地域
------	---------------

活動内容	<p><u>①復興支援専門員</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興支援員等のスキルアップやネットワーク構築、連携強化を目的とした研修会等の開催、情報発信等による活動の活性化支援 ・地域の支援ニーズの把握等 	 <p>県内で活動する復興支援員等のスキルアップや連携を図るための研修会の開催</p>
	<p><u>②復興支援員(阿武隈地域復興)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間連携交流事業の実施、避難指示解除区域へ帰還促進のための交流事業の開催、地域情報の発信等 	

ホームページ	http://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/	配属地域概要	人口	1,860,551人 (R1.12.1)	高齢化率	31.6% (R1.12.1)
			面積	13,784km ²		

問合せ先	所属	福島県企画調整部地域振興課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	15,224棟
	担当者	栗林 政和				
	電話番号	024-521-7114	備考			
	メールアドレス	tiikishinkou@pref.fukushima.lg.jp				

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県② ～

事業名	福島県復興支援(専門)員	事業実施主体	福島県
		関係協力団体	③福島大学うつくしまふくしま未来支援センター ④埼玉県労働者福祉協議会 ほか9団体

概要	③避難市町村の現状や課題等を把握し、帰還促進事業、教育環境整備及び営農再開における支援が必要な事項について、解決に向けた取組を行う。 ④県外へ避難する県民のコミュニティ構築や戸別訪問等相談対応等
----	--

支援員数	③延べ10名(定員10名) ④45名	活動時期	③平成27年4月～、④平成26年11月～
------	-----------------------	------	----------------------

活動地域	③避難12市町村(南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、田村市、川俣町) ④埼玉県、東京都、千葉県、神奈川県、群馬県、茨城県、栃木県、山形県、新潟県
------	---

活動内容	③復興支援専門員(避難地域復興) ・園児の体力向上を図るカリキュラムの実技指導及びアドバイスの実施。 ・関係人口拡大のためのイベント「相双TSUNAGARU」を実施。	 <p>園児の体力向上を図るための実技指導</p>	 <p>「相双TSUNAGARU」の様子</p>
	④復興支援員(県外9都県へ配置) ・避難者への戸別訪問等による見守り、ケア等を行う。	 <p>戸別訪問の様子</p>	

事業名

福島県復興支援(専門)員

事業実施主体

福島県

関係協力団体

⑤(株)野生動物保護管理事務所

概要

⑤帰還住民や一時帰宅住民のコミュニティの再構築を図るため、避難12市町村の個別計画に基づいた鳥獣被害対策に係る住民の合意形成の推進等を支援する。

支援員数

⑤2名

活動時期

⑤平成30年4月～

活動地域

⑤避難12市町村(南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村、田村市、川俣町)

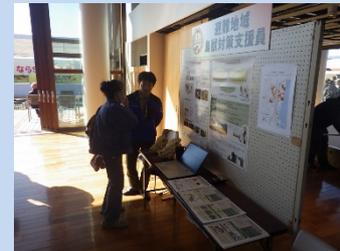
活動内容

⑤復興支援員(避難地域鳥獣対策支援員)

○支援員は担当市町村におけるイノシシ等の出没情報、痕跡情報、被害状況等の情報収集を行い、その情報をGISに入力して「見える化」し地域住民による話し合いのきっかけとして活用されている。



住民勉強会の開催



地域イベントでの広報発動

○侵入防止柵設置の技術指導や住民勉強会開催のコーディネート、資料づくりなど、専門的知識をいかした鳥獣被害対策をとおして避難12市町村の地域コミュニティ再構築に取り組んでいる。



ワイヤーメッシュ柵(被害防止柵)設置の技術指導

事業名	相馬市復興支援員事業	事業実施主体	福島県相馬市
		関係協力団体	相馬市観光協会

概要 相馬市の復興事業を加速化させるとともに、よりきめ細やかな事業を実施していくため、相馬市復興支援員を設置し、旅館業組合や地元NPO法人等が主体となって行う相馬市の観光交流人口拡大のための活動支援やツアーコーディネートを行っている。

支援員数	4名	活動時期	平成31年4月～令和2年3月
------	----	------	----------------

活動地域	福島県相馬市
------	--------

活動内容

本市の観光拠点であった県立自然公園、松川浦が震災により甚大な被害を受けており、旅館業組合や地元NPOが中心となり、観光業の復興を図るため、被災地ツアー等や新たなスポーツ・ツーリズムの取り組みを行っている。

復興支援員がそのコーディネートを行い、被災地視察ツアーの受け入れ調整や、相馬市の新たな観光資源を活用したPR方法の取りまとめ支援を行っている。

特に被災地ツアーの中では、震災語り部の取り組みなど、地域住民を巻き込んで、震災のつらい体験で塞ぎ込んでいる方が、前を向いて防災への備えを普及していくための活動の支援を行っている。



被災地視察ツアーで来訪者へ説明する復興支援員(上)と体験を語る震災語り部(下)

ホームページ	http://www.city.soma.fukushima.jp/		配属地域概要	人口	34,708人	高齢化率	30.80%
問合せ先	所属	相馬市 企画政策課		面積	197.79km ²		
	担当者	遠藤 尚	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	458人	住宅被害 (全壊)	1,097戸
	電話番号	0244-37-2614					
	メールアドレス	K-kikaku@city.soma.lg.jp		備考			

事業名	田村市復興支援員	事業実施主体	福島県田村市
		関係協力団体	NPO法人くらすタ

概要	住民が主体的に自立した地域運営に関わることができる、支え合い・共助の仕組みづくりをサポートする活動
----	---

支援員数	7名	活動時期	平成31年4月～令和2年3月
------	----	------	----------------

活動地域	福島県田村市都路地区および市内全域
------	-------------------

活動内容	<p>【支え合いのサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、人手不足が加速する地域において、公的サービスに依存するだけではなく、「自分たちでできることは自分たちで」行えるよう、高齢者の見守りや交流サロンの開設などを手伝い、長く運営できるためのチームビルディング支援(論理的な目的の設定、合意形成の取り方等)を行っている。
	<p>【主体的運動のサポート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし活動や農産物・特産品の販売、着地型観光を行う住民団体に対して、目標設定や、運営ノウハウの提供、人脈を駆使した販路開拓などのサポートを行っている。 <p>【住民が活躍できる場所づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産物直売、住民交流、高齢者の見守りなどを行う拠点を整備し、住民共助や地域振興活動を支える多機能スペースを住民との協働により作っています。



◀交流の場づくりの為の意見交換会の様子

ホームページ	http://tamura-ouentai.org/		配属地域概要	人口	36,410人	高齢化率	34.38%
問合せ先	所属	福島県田村市 経営戦略室		面積	458.33km ²		
	担当者	松崎 勝弘	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	14人 (災害関連死)	住宅被害 (全壊)	19戸 (全壊)
	電話番号	0247-81-2117					
	メールアドレス	senryaku@city.tamura.lg.jp		備考	<ul style="list-style-type: none"> ・県内避難者221人、県外避難者56人 ※人口：令和元年12月1日、避難者：令和元年11月末現在 		

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市① ～

事業名	小高区街なか賑わい創出事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	

概要 東京電力福島第一原子力発電所事故から5年4か月もの長きにわたって避難指示が出されていた南相馬市小高区に、多世代の交流による賑わいを取り戻すとともに、地域の活性化を図り、小高の復興・再生を実現するため、復興の拠点となる施設を運営し、地域コミュニティを再構築し、「持続可能なまち」となることを目指す。

支援員数	1名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域	福島県南相馬市小高区
------	------------

活動内容 地域住民が主体となって失われた「人とのつながり」「地域のつながり」「人との交流」を取り戻すため、多世代の住民が集い、地域を越えた交流を図る場を創出するための拠点施設の運営に当たって、住民参加型（行政区、商工業者、地域住民等）の施設運営による課題解決の検討と実践、施設の管理・活用計画の策定を支援し、課題を共有しながら、一緒にその課題解決に取り組むことにより、福島第一原子力発電所事故で失われた地域コミュニティの再構築を図っていく。



ホームページ		http://www.city.minamisoma.lg.jp		配属地域概要	人口	59,822人	高齢化率	35.1%
問合せ先	所属	南相馬市 小高区 地域振興課			面積	398.58km ²		
	担当者	村井 洋幸		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,152人	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	電話番号	0244-32-1124						
	メールアドレス	o-chiikishinko@city.minamisoma.lg.jp		備考	<ul style="list-style-type: none"> ・市外避難者：5,042人(うち福島県外3,080人) ・旧避難指示解除日：平成28年7月12日 ・一部、帰還困難区域あり。 			

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市② ～

事業名	観光振興事業 物産振興事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	一般社団法人南相馬市かしま観光協会

概要	東日本大震災、福島第一原子力事故からの復興のため、地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に向けた活動を中心に展開している。
----	--

支援員数	2名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域	福島県南相馬市鹿島区
------	------------

観光協会や関係団体等と協同し、震災前から地域コミュニティに根差してきた祭りやイベントの再興、地元産完熟梨を使用した100%梨ジュースの特産品開発・風評払拭PR活動、区内の山を使った花いっぱい運動を住民ボランティアと一緒にするなど、地域のつながりや地元住民すべてが情報を県内外へ発信できるような環境づくりなど地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に繋がる活動を行っている。

活動内容	<p> 第4回かしまみなとまつり 南相馬物産展 十月三日・十一月二日 杉並区役所前 十一月三日 杉並区妙法寺 千日紅市 ニッポン全国物産展 十一月二日 油壺サンシャインシティ </p>
------	--

ホームページ	http://kashima-Kankou.jp/	配属地域概要	人口	59,822人	高齢化率	35.1%
--------	---	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	南相馬市 鹿島区 地域振興課	被災状況	面積	398.58km ²	
	担当者	西 昇		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,152人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	0244-46-2110	備考		・市外避難者：5,042人(うち福島県外3,080人) ・旧避難指示解除日：平成28年7月12日 ・一部、帰還困難区域あり。	
	メールアドレス	n-noboru@city.minamisoma.lg.jp				

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市③ ～

事業名	みなみそうま復興大学事業	事業実施主体	福島県南相馬市		
		関係協力団体			

概要 本市の復興に向けて、地域の再生や地域のコミュニティの再構築を図るために復興支援員を配置し、多くの大学が市内をフィールドに調査・研究活動を活発に行えるよう支援し、課題の洗い出し及び解決を図る。

支援員数	2名	活動時期	平成29年5月～		
------	----	------	----------	--	--

活動地域	福島県南相馬市 全域				
------	------------	--	--	--	--

活動内容	<p>○地域と大学とのコーディネート 大学等の本市をフィールドとした現地調査・研究活動がスムーズに行えるよう地域と各大学との橋渡し(コーディネート)を行った。 大学等の南相馬市への来訪者数:延べ670人(12月末時点)</p> <p>○情報発信 支援制度の案内や、地域の現状及び大学等の地域での活動状況等をWebサイト、SNSで市内外へ発信した。</p> <p>○地域での報告会の実施 大学等による地域の課題解決につながる調査研究の成果について報告会を開催し、地域との意見交換を行った。</p>		
			

ホームページ	https://www.city.minamisoma.lg.jp/attraction/experience/university/index.html		配属地域概要	人口	59,822人	高齢化率	35.1%
				面積	398.58km ²		

問合せ先	所属	復興企画部 企画課 復興推進係	被災状況	人的被害 (死亡者:身元判明者+死亡認定者)	1,152人	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	担当者	羽山 勇作		備考	<ul style="list-style-type: none"> ・市外避難者:5,042人(うち福島県外3,080人) ・旧避難指示解除日:平成28年7月12日 ・一部、帰還困難区域あり。 		
	電話番号	0244-24-5358					
	メールアドレス	kikaku@city.minmisoma.lg.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市④ ～

事業名	観光振興事業 物産振興事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	一般社団法人南相馬観光協会

概要	東日本大震災、福島第一原子力発電所事故からの復興のため、地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に向けた活動を中心に展開している。
----	---

支援員数	2名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域	福島県南相馬市
------	---------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にある北泉海岸にて震災後初めてとなる海開きが行われ、運営の補助を行った他、観光地振興と地域の絆を育むことを目的に、8月17日(土)に同海岸において、スポーツゴミ拾いのイベントを開催した。(60名参加) ・幅広い世代の地域交流と新たな地域振興イベント創出を目的に、イベント閑散期となる冬季の12月22日(日)に観光拠点施設「野馬追通り銘醸館」において、クリスマスパーティーを開催した。(約350人来場) ・当地方最大の観光素材である相馬野馬追のPRのため、イベントにて甲冑着付け体験を実施した。 ・地元住民が活動する観光ボランティアガイドの被災地・観光地見学のコーディネートを行い、市内の復興状況をより詳しく市内外の方に発信した。 ・南相馬市の風評払拭のため、地元業者や生産者と協力し、首都圏を中心とするイベントで地域特産品の販路拡大・販売促進を目的とした、物産販売やPR活動等を実施した。 ・市外への観光PRを円滑に行うために、野馬追グッズやノベルティを作成した。
------	--



ホームページ	http://minamisomakanko.org/	配属地域概要	人口	59,822人	高齢化率	35.1%
--------	---	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	南相馬市 経済部 観光交流課	被災状況	面積	398.58km ²	
	担当者	野村 司		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	1,152人	住宅被害 (全壊)
	電話番号	0244-24-5263	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・市外避難者：5,042人(うち福島県外3,080人) ・旧避難指示解除日：平成28年7月12日 ・一部、帰還困難区域あり。 		
	メールアドレス	nomura.tsukasa@city.minamisoma.lg.jp				

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県南相馬市⑤ ～

事業名	まちづくり市民活動 団体支援事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	南相馬市市民活動サポートセンター

概要 南相馬市内で公益的で非営利な活動している団体を支援するセンターです。市民・行政・NPO法人・企業など、多様な人と情報が活発に往来し、さらなる情報の受発信を行い、震災後のコミュニティ再構築に向け、出会いや学びの機会づくりに取り組んでいます。

支援員数	3名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域 福島県南相馬市内

活動内容 南相馬市内では多くの市民活動団体が活動を行っています。また南相馬市においてもこれまで協働研究会や補助によって市民活動推進に向けた取り組みを行ってきました。東日本大震災以降、コミュニティの再構築における、市民活動の必要性・ニーズが高まり、継続的な活動が強く求められています。南相馬市市民活動サポートセンターでは、市民活動団体へスキルアップ支援、情報の受発信、設備の提供や各種講座や交流会の開催を行い、市民が自ら取組む地域のコミュニティーの再生・活性化を支援しています。



ホームページ	http://saposen.net/		配属地域概要	人口	59,822人	高齢化率	35.1%
--------	---------------------	--	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	南相馬市 復興企画部 コミュニティ推進課	被災状況	面積	398.58km ²	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	担当者	桃井 保典		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,152人		
	電話番号	0244-24-5411	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・市外避難者：5,042人(うち福島県外3,080人) ・旧避難指示解除日：平成28年7月12日 ・一部、帰還困難区域あり。 			
	メールアドレス	commusui@city.minamisoma.lg.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県南相馬市⑥ ～

事業名	地域コミュニティ再生支援事業	事業実施主体	福島県南相馬市
		関係協力団体	鹿島商工会

概要 東日本大震災、福島第一原子力事故による南相馬市鹿島区の復興に伴う地域力の再生・維持・強化に資する活動を鹿島商工会を通じて行うことにより、地域コミュニティの再構築を図る。

支援員数	1名	活動時期	令和元年11月～
------	----	------	----------

活動地域 福島県南相馬市鹿島区

鹿島商工会を通じて、各種施策等の情報提供及び相談受付、各種調査及び集計業務、セミナー開催補助、地域イベントの運営補助など地域活動に参加することにより、地域の課題を整理し、新たな地場産品・土産品の開発及び販売促進など、鹿島区内の商工業者を支援し、地域住民間のコミュニティ再生・維持・強化に資する。

活動内容



ホームページ	http://kashima-Kankou.jp/		
--------	---	--	--

問合せ先	所属	南相馬市 鹿島区 地域振興課	配属地域概要	人口	59,822人	高齢化率	35.1%
	担当者	西 昇		面積	398.58km ²		
	電話番号	0244-46-2110	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1,152人	住宅被害 (全壊)	1,277世帯
	メールアドレス	n-noboru@city.minamisoma.lg.jp		備考	<ul style="list-style-type: none"> ・市外避難者：5,042人(うち福島県外3,080人) ・旧避難指示解除日：平成28年7月12日 ・一部、帰還困難区域あり。 		

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県伊達市① ～

事業名	伊達市復興支援員(霊山地域)	事業実施主体	福島県伊達市
		関係協力団体	国立大学法人 福島大学

概要 東日本大震災に伴う原発事故で放射能被害のあった霊山地域の復興・再生のため、国立大学法人福島大学へ業務を委託し、霊山地域の地域づくり団体等と連携して、6次化商品開発や交流イベントなど、地域で抱える課題の解消に向けた取り組みを協働して実施する。

支援員数	1名	活動時期	平成28年4月～
------	----	------	----------

活動地域	伊達市霊山町全域
------	----------

活動内容

○霊山町認定農業者会事務局の運営を支援しながら、認定農業者の農業経営の発展と会員相互の親睦に努めた。

○地域住民、関係機関の総数25名で6次化商品開発に取り組んでいる平田村の「医食同源の郷」プロジェクト及び三春町の「かおるブルーベリー園」に視察研修を行い交流を深めた。

○霊山、月舘産農産物の販売PR活動を行っている霊山小国若い農業者の会の活動をマルシェ事業や視察研修事業を通じて支援した。

(左写真)三春町の「かおるブルーベリー園」園主夫妻との懇談会

(右写真)霊山小国若い農業者の会のメンバーによる農産物販売PR活動



ホームページ	http://www.city.fukushima-date.lg.jp/	配属地域概要	人口	7,027人 (R1.12末現在)	高齢化率	42.2% (R1.12末現在)
			面積	87.33km ²		

問合せ先	所属	市長直轄総合政策課	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	なし	住宅被害 (全壊)	1戸
	担当者	根本 さとみ		備考	国から霊山町の103地点111世帯が特定避難勧奨地点として設定された。(現在はすべて解除)		
	電話番号	024-575-1142					
	メールアドレス	seisaku@city.fukushima-date.lg.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県伊達市② ～

事業名	伊達市復興支援員(小国地区)	事業実施主体	福島県伊達市
		関係協力団体	国立大学法人 福島大学

概要 東日本大震災に伴う原発事故で放射能被害のあった霊山地域の復興・再生のため、国立大学法人福島大学へ業務を委託し、新たな農業振興の取り組みを支援する復興支援員を配置し、被災地域の農業再生に寄与する活動を行っている。

支援員数	1名	活動時期	平成27年6月～
-------------	----	-------------	----------

活動地域	伊達市霊山町小国地区
-------------	------------

活動内容

○霊山小国地域興しコンニャクプロジェクト研究会の運営を行いながら、地域特産品としてのコンニャクをPRするため実証展示圃の設置とコンニャク製品の販売促進を各種イベントや道の駅、直売所等で行った。
 ○ブランド米生産研究会の設立と運営を支援しながら、小国地区の良質米生産技術の研鑽に努めた結果「小国のうまい米」として、道の駅レストラン部門で利用され、直売部門で販売されるようになった。
 ○霊山町小国地区若い農業後継者育成研修会で岩手県・宮城県の優良生産者4箇所の視察を行った。

(左写真)伊達市太鼓祭り地元産芋玉コンニャクの販売PRを行った。
 (右写真)岩手県多自然農場代表の多田克彦氏により、今後の農業の未来について研修を受ける。



ホームページ	http://www.city.fukushima-date.lg.jp/		配属地域概要	人口	1,086人 (R1.12末現在)	高齢化率	44.7% (R1.12末現在)
---------------	---	--	---------------	-----------	----------------------	-------------	---------------------

問合せ先	所属	市長直轄総合政策課	被災状況	面積	87.33km ² (霊山全域)	住宅被害	1戸 (霊山全域)
	担当者	根本 さとみ		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	なし		(全壊)
	電話番号	024-575-1142	備考	国から霊山町小国地区の83地点90世帯が特定避難勧奨地点として設定された。(現在はすべて解除)			
	メールアドレス	seisaku@city.fukushima-date.lg.jp					

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県伊達市③ ～

事業名	伊達市復興支援員(月舘地域)	事業実施主体	福島県伊達市
		関係協力団体	一般社団法人 つきだて振興公社

概要 東日本大震災に伴う原発事故で放射能被害のあった月舘地域の復興・再生のため、一般社団法人つきだて振興公社へ業務を委託し、交流人口の拡大や地域資源を活用したコミュニティの活性化を支援する復興支援員を配置し、被災地域のまちづくりや地域おこしに寄与する活動を行う。

支援員数	1名	活動時期	平成27年4月～
------	----	------	----------

活動地域 伊達市月舘町全域

活動内容

- 小手小校舎活用の調査研究
 - ①月舘総合支所・つきだて振興公社との活用検討
 - ②廃校活用・地域づくりの先進事例調査
- 地域復興のための支援
 - ①地消地産推進プロジェクト...循環型の地域経済を住民に体験してもらうために納豆を用いた地産地消事業を実施
 - ②月舘の情報を発信する基盤整備...昨年度制作したつきだてタイム(メディア)とつきだて商店(ECサイト)をWordPressに移行し情報発信基盤の強化を実施。
 - ③月舘のイベントや六次化におけるデザイン支援
やさい工房イベント、花工房オリジナル日本酒ラベルなど



町内の健康セミナーにて試食会実施 月舘小学校にて納豆づくりWSを実施



やさい工房 イベントチラシ

ホームページ		http://www.city.fukushima-date.lg.jp/		配属地域概要	人口	3,181人 (R1.12末現在)	高齢化率	44.9% (R1.12末現在)
問合せ先	所属	市長直轄総合政策課			面積	43.63km ²		住宅被害
	担当者	根本 さとみ		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	なし	0戸	
	電話番号	024-575-1142						
	メールアドレス	seisaku@city.fukushima-date.lg.jp		備考	国から月舘町の6地点6世帯が特定避難勧奨地点として設定された。(現在はすべて解除)			

事業名	広野町復興支援員	事業実施主体	福島県広野町
		関係協力団体	

概要 震災及び原発事故で甚大な被害のあった本町において、新たな産業、観光、農業振興及び雇用機会拡大等、地域力の再生・維持・強化を目的に、町内主要施設である二ツ沼総合公園にて、指定管理者の(株)広野町振興公社が実施する「国産バナナ栽培事業」の専門的知識の提供等、事業を支援している。

支援員数	1名	活動時期	平成31年4月～令和元年10月
------	----	------	-----------------

活動地域	福島県広野町二ツ沼総合公園(フラワーパーク)
------	------------------------

活動内容 広野町二ツ沼総合公園にて、(株)広野町振興公社が実施する「国産バナナ栽培事業」の専門的知識の提供等、事業を支援。バナナ栽培における定植、開花、収穫、追熟、出荷とトータル的な社員指導を行い、令和元年8月中旬に町産バナナ「朝陽に輝く水平線がとても綺麗なみかんの丘のある町のバナナ(愛称「綺麗)」を初収穫。

町内外で行われるイベントやフラワーパーク視察受け入れの際には専門的な知見からの説明を行い、町の新たな特産品としての魅力をPRした。



ホームページ		配属地域概要	人口	4,782人	高齢化率	31.58%
問合せ先	所属		福島県広野町復興企画課	面積		
	担当者	黒田 峻介	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	住宅被害 (全壊)	113戸
	電話番号	0240-27-1251				
	メールアドレス	fukkoukikaku@town.hirono.lg.jp	備考			

事業名	楡葉町復興支援員	事業実施主体	福島県 楡葉町
		関係協力団体	委託先: 一般社団法人 ならはみらい

概要	一日も早い復興を果たすため、地域に根差したコミュニティ主体の復興を進めることが重要。そのために、コミュニティの施行地区に向けた人材面などでの支援を行う。(住民主体のまちづくり、産業振興、伝統文化の継承等、子供の支援活動、福祉のまちづくり、交流人口拡大等を行う)
----	--

支援員数	4名	活動時期	平成31年4月1日～令和2年3月31日
------	----	------	---------------------

活動地域	福島県双葉郡楡葉町、いわき市、会津美里町 他
------	------------------------

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ①交流人口拡大事業 町民及び町外との協働によって町の魅力を高める。 ②生活再建コールセンター 空き屋・空き地バンク、ハウスクリーニング、帰還の為に屋内片づけ等、生活再建を行う資する事業の受付を一本化 ③行政区及び町民団体を中心とした活動支援 行政区や町民団体の活性化を目的に地区内での花植えや、藍染め、わらじ作り活動の後方支援を実施 ④楡葉町活性化協議会町民の自立を支援し、活力を引き出すため、各分野の組織間の連携を確立し、それを支援する ⑤ならは応援団 人材、知恵、資金の3分野で町を支援してくれるサポーターを募り、継続的な活動を目指す ⑥交流館を活用した企画立案及び実施 町の交流拠点である「みんなの交流館 ならはCANvas」での交流イベントやワークショップ等企画及び実施
------	--



ホームページ	ならはみらいHP: http://narahamirai.sakura.ne.jp/		配属地域概要	人口	6,840	高齢化率	0.3333%
問合せ先	所属	復興推進課		面積	103.4㎡		
	担当者	片寄聡史	被災状況	人的被害 (死亡者: 身元判明者+死亡認定者)	津波被害: 13名 震災関連死: 138名	住宅被害 (全壊)	全壊: 147件 (内流失: 75件)
	電話番号	0240-23-6103					
	メールアドレス	fukkou-n@town.naraha.lg.jp	備考				

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県富岡町① ～

事業名	富岡町復興支援員	事業実施主体	福島県富岡町
		関係協力団体	一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会

概要 東日本大震災及び東京電力(株)福島第一原子力発電所事故により、全町民が全国各地で長期にわたり避難生活を余儀なくされている中、県外の避難先で町民が孤立してしまうことのないよう埼玉県に復興支援員を配置し、避難町民への戸別訪問、生活支援及び地元住民等とのコミュニティ形成を図っている。

支援員数	5名	活動時期	平成27年1月～
------	----	------	----------

活動地域	全国
------	----

活動内容

○全国各地に避難している町民に対して戸別訪問を実施し、継続的に支援が必要と思われる世帯を重点的に訪問している。避難者からのリクエスト訪問がある場合に関しても随時戸別訪問対応を取っている。

○定期的に県外に避難している町民に対して交流会を実施している。交流会の主な内容は、昼食を交えた食事会や富岡町の行事に合わせたツアー旅行(さくらまつり、えびす講市)等である。今年度は復興支援員主催の交流会は10回ほどで開催された地域は、東京都、神奈川県、茨城県などである。

○復興支援員独自で開催している交流会以外にも県外支援団体(NPO法人等)及び他自治体主催の交流会にも復興支援員が参加し交流会の運営協力をしている。



ホームページ	なし	配属地域概要	人口	12,725人	高齢化率	31.3%
--------	----	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	富岡町役場住民課 生活支援係	被災状況	面積	68.39km ²	住宅被害 (全壊)	417戸
	担当者	杉江 一真		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	24人 (関連死:449人)		
	電話番号	0240-22-9000	備考	H23.3 避難指示(町全域) H29.4 帰還困難区域を除いて避難指示が解除 避難状況(R2.1.1現在): 県内(町外)約10,000人、県外約4,000人			
	メールアドレス	tom1000-0@tomioka-town.jp					

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県富岡町② ～

事業名	富岡町住民主体のまちづくり 復興支援員	事業実施主体	福島県富岡町
		関係協力団体	一般社団法人とみおかプラス

概要 町の未来を担う人材の確保・発掘・育成、町に安全や安心、元気をもたらす共助や協働の仕組みづくり、町外から町に関われる交流・つながりの仕組みづくり及び町に新たな魅力を生み出す取り組みなど、住民主体のまちづくりを支援する取り組みを展開している。

支援員数	3名	活動時期	平成29年4月～
------	----	------	----------

活動地域 福島県双葉郡富岡町

活動内容

①とみおかサポーター事業(とみおかアンバサダー事業)
町の情報発信を推進する担い手を町外に拡大することを目的に「とみおかアンバサダー」を選抜認定。町を来訪する機会・活動を通して町民とのつながりを醸成。

②研修・視察受け入れ事業
町の状況を視察するだけでなくワークショップなどの研修で多様な人が町に関わるきっかけが生まれ、交流・関係人口の拡大の創出に貢献。

③イベント事業
人と町との交流機会を創出し、町民同士のつながりや一体感を高めていくための伝統的イベントや防災イベントなど企画・運営。

【例】「防災ラボ in とみおか」(町民同士の自助・共助を踏まえた防災を考える機会の創出)
「町内イルミネーション」(サポーターと町内スーパー駐車場を飾り付け。コンテスト形式で住民・企業も参画)

【活動事例】



アンバサダーによる町内での日本酒ラベル製作(R.12)



防災ラボで非常災害食の試食(R.11)



町内スーパー駐車場を飾るイルミネーション作業(R.11)

ホームページ	http://www.tomioka-town.jp/		配属地域概要	人口	12,725人	高齢化率	31.3%
--------	---	--	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	福島県富岡町企画課	被災状況	面積	68.39km ²	住宅被害 (全壊)	417戸	
	担当者	栗林 政和		人的被害 (死亡者：身元判明者+死亡認定者)	24人 (関連死:449人)			
	電話番号	0240-22-9010		備考	H23.3 避難指示(町全域) H29.4 帰還困難区域を除いて避難指示が解除 避難状況(R2.1.1現在)：県内(町外)約10,000人、県外約4,000人			
	メールアドレス	tom0200-0@tomioka-town.jp						

事業名	大熊町復興支援員	事業実施主体	福島県大熊町
		関係協力団体	一般社団法人おおくままちづくり公社

概要	<p>原発事故により福島県内外に分散して避難生活を送る町民向けに、町政や町民のコミュニティ活動の情報を発信したり、町民主体の交流活動を支援したりするなど、離れていても大熊町とのつながりを感じてもらうための活動をしている。</p>
----	--

支援員数	2名	活動時期	平成31年4月～令和2年3月
------	----	------	----------------

活動地域	福島県会津若松市、いわき市を中心に町民が避難する全国各地、大熊町内
------	-----------------------------------

活動内容	<p>まちづくり公社の復興支援員は、町民の避難先におけるコミュニティ形成支援を担当し、震災後、県内外の避難先で発足した町民コミュニティ団体が開催するイベントなどの運営・イベント企画等を支援している。また、2019年春の町内一部地域における避難指示解除に伴い、各種イベント等を通じて町内コミュニティ支援も実施することで、町と町民もしくは町民同士のつながりを維持することに貢献している。写真は「里がえりもちつき大会」の様子。</p>	
------	--	--

ホームページ	http://www.town.okuma.fukushima.jp/	配属地域概要	人口	10,313人	高齢化率	26.5%
--------	---	--------	----	---------	------	-------

問合せ先	所属	大熊町企画調整課	被災状況	面積	78.71km ²	住宅被害 (全壊)	285戸
	担当者	佐藤 和宏		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	12人(直接死)		
	電話番号	0240-23-7643	備考	2019年春に町内の一部地域が避難指示解除された。			

メールアドレス	kikakuchosei@town.okuma.fukushima.jp
---------	--------------------------------------

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県双葉町 ～

事業名	双葉町復興支援員	事業実施主体	福島県双葉町
		関係協力団体	(一社)ONE福島／(一社)ふたばプロジェクト

概要 東日本大震災及び原発事故により福島県内外で避難生活している双葉町民のコミュニティ維持・発展のため、町民同士のきずなの維持・発展等を図るコミュニティ支援、町民活動の動画撮影取材・情報発信による映像等制作支援、コミュニティ紙発行による広報支援を実施している。令和元年度からは町内の復興・復旧状況に重点を置いた情報発信も実施し、帰還意欲の向上を図っている。

支援員数	8名	活動時期	平成25年8月～
------	----	------	----------

活動地域 双葉町及び福島県全域、並びに避難者が多い関東圏、宮城県、新潟県など

活動内容

- コミュニティ支援
 - ・町民のニーズをヒアリングしながら支援策等を検討し、交流に向けたサポートを実施している。
- 映像等制作支援
 - ・町の動きや町民の活動の様子などを動画撮影取材し、制作した映像を定期的にYouTubeで情報発信している。
- 広報支援
 - ・町民の主体的な活動などを取材・制作し、コミュニティ紙「つなげよう つながろう ふたばのわ」(毎月1回)を発行している。また、町公式ブログを活用するなどコンテンツの充実化にも取り組んでいる。
- 町内の復興・復旧状況の情報発信
 - ・情報紙「ふたば、ふたたび☆」(年4回)の発行やSNSを利用し、町内の復興・復旧状況を発信している。



コミュニティ紙



町民活動取材の様子



ふたば、ふたたび☆

ホームページ		https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp		配属地域概要	人口	5,911人	高齢化率	35.01%
問合せ先	所属	秘書広報課／生活支援課／復興推進課			面積	51.42km ²		(R1.12月現在)
	担当者	板倉幸美／大島由久／黒木アリシャ		被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	191人 (R1.8月現在)	住宅被害 (全壊)	286棟 (調査未完了)
	電話番号	0246-84-5200(代表)			備考			
	メールアドレス	hisyo-koho@town.futaba.fukushima.jp						

「復興支援員制度」活用事例 ～ 福島県浪江町～

事業名	浪江町復興支援員		事業実施主体	浪江町			
			関係協力団体	公益社団法人 青年海外協力協会			
概要	浪江町復興支援員事業は、被災者への支援施策の変化等で、今後の生活の再建に不安な思いを募らせている方々に、必要な相談や支援策の活用にかかるサポートを行っている。生活再建として挙げている6要素のうち特に「住まい、くらしむき(就労)」に関して、戸別訪問や交流会への参加を通じ、情報を収集し支援を行っている。また、福島県内では、避難町民の交流の場として交流館(福島市、郡山市、いわき市)を設置および復興支援員を配置している。						
支援員数	17名		活動時期	平成31年4月1日から令和2年3月31日			
活動地域	福島県(浪江町外)、宮城県、東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、栃木県						
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 避難町民の戸別訪問を通じ、生活再建にかかる支援を行っている。 ➤ 避難先で浪江町民が設立した任意団体が開催する交流会を支援している。 ➤ 交流館の運営管理を通じ、利用する避難町民から情報を元に、避難町民の見守りなどを行っている。 		 				
ホームページ	http://www.town.namie.fukushima.jp/		配属地域概要	人口	17,166人(住基) 令和元年12月現在	高齢化率	33.7% (令和元年12月現在)
問合せ先	所属	生活支援課避難生活支援係		面積	223.14Km ²		
	担当者	山崎 裕章	被災状況	人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	519名	住宅被害 (全壊)	651戸
	電話番号	0243-62-0305					
メールアドレス	namie19010@town.namie.lg.jp		備考				

「復興支援員制度」 活用事例 ～ 福島県葛尾村 ～

事業名	葛尾村復興支援員	事業実施主体	福島県葛尾村
		関係協力団体	一般社団法人葛尾むらづくり公社

概要	被災地を一体的に支援できるよう復興支援員を配置し、村民同士がつながり・絆を深めるための活動や地場産品の販売支援などを通じ、賑わいと活力ある村づくり、コミュニティ活性化に資する活動を展開している。
----	---

支援員数	4名	活動時期	平成30年4月～令和3年3月
------	----	------	----------------

活動地域	福島県双葉郡葛尾村全域
------	-------------

活動内容	<p>全村避難からの復興のシンボルとして建設した「葛尾村復興交流館あぜりあ」は、村民同士が交流できる場、地場産品等村内の情報発信の場となるよう、その運営を復興支援員が所属する葛尾むらづくり公社が担っている。その運営を通じ、村民同士がつながり・絆を深め、村全体の賑わいや活力につながるよう活動を行っている。</p> <p>また、避難している村民の帰村意識の醸成につながるよう、さらには他地域からの移住定住につながるようサイクリングや音楽、薪能上演、手芸教室など様々なイベントの企画・運営を行っている。</p>	 
------	---	--

ホームページ	https://www.katsurao-kosha.com/	配属地域概要	人口	1,408人	高齢化率	38.21%
--------	---	--------	----	--------	------	--------

問合せ先	所属	葛尾村 復興推進室	被災状況	面積	84.37km ²	住宅被害 (全壊)	全壊(なし) 半壊(11棟)
	担当者	戸邊健一		人的被害 (死亡者：身元判明者＋死亡認定者)	1人		
	電話番号	0240-29-2111	備考				
	メールアドレス	mura05@vill.katsurao.lg.jp					